



また、「今後望む生活形態」で「就職」を選択した人の中でも、自立支援センターの利用希望は約4割と低くなっている。

	n	%
全就労希望者（男性のみ）	359	100%
自立支援C希望あり	139	38.7%
なし	220	61.3%

(2) 利用経験者、利用希望者、利用回避者の属性

利用の経験や今後の利用希望は路上生活者の属性によって異なる（上記の表1参照）。「知っている」人のうち、利用者と非利用者の平均年齢は約2歳異なり（54.5歳、57.2歳、2群の平均の差をみるt検定では1%有意）、利用者のほうが若干低くなっている。非利用者の今後の利用希望についても、利用希望者の平均年齢のほうが若干低く、55.5歳と57.7歳となっている（t検定では1%有意）。また「知らない」層は、どの層よりも平均年齢が高い。45歳未満の路上生活者の19%は自立支援センターの経験者であり、センターを知らない人は28%に過ぎない。センターの存在を知っているが利用したことがない人の中でも、